

# 株式会社マーベックス

## 大手メーカーに引けを取らない製品開発力 成長を支えてくれる“人材”には惜しまず投資を続ける

### 事業内容

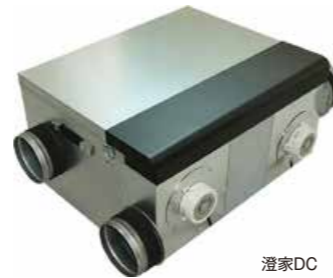
#### 独創性の高い製品の開発 大手企業がやりづらいニッチな市場で勝負

大手化学品メーカーを退職した現代表である本田氏が58歳の時(平成13年(2001年))にもものづくりへの強いこだわりをもって同社を創業。初年度の決算こそ最終損益で赤字となったものの、それ以降は黒字を維持し、売上ベースでは増収を続けている。

主に、床下の熱交換型セントラル換気システム(自社ブランド名:澄家)の製造を行っており、そのほか外付けオーニング、外部壁材などの各種省エネ建材の開発と販売も手掛けている。主力の熱交換型セントラル換気システムは、一般的な熱交換換気比べ床下に設置することで空気の換気効率を高め、換気の際に捨てられてしまう

室内の暖かさや涼しさを再利用できるという利点を持っている。全国の工務店向けに販売しており、独創性のある製品であることから得意先からも開発メーカーとして支持されている。

”エコロジカルなシステムによってより快適で健康な建物を作る”という理念で技術・製品開発を進めている。



澄家DC

### 外部人材活用・人材投資に注力した背景

#### 成長のエンジンとなる”人材”には惜しまず投資 大手メーカー研究開発部門から外部人材を招聘、外部ブレンも多く活用

住宅の性能を向上させるためのオリジナルの技術・製品開発を進めてきた結果、得意先からの支持が得られるようになった。新たな引き合いに対応し、既存取引先との関係をより深くしていくために、営業人員を増員させる必要が出てきた。人材紹介会社を介したものと従業員からの紹介など採用に際しては惜しまず積極的に投資してきた。

また、営業人員だけではなく、5年後、10年後の主力製品を作っていくための研究・開発(技術)人員の確保も不可欠である。それら人員については、専門的なスキルも必要であるため、大手企業で研究開発経験のある人材をマッチング会で出会いスカウトした。さらに、理系の新卒採用に向けては、工学系の大学の研究室とのコネクションを活かした採用活動を進めている。

同社では、採用活動に力を入れるのと同時に外部人材

の活用も進めている。自社のノウハウという理由で外部に情報を出さないのではなく、できるだけ情報を開示し、新たな情報を得られる機会を作るようにしているという。研究開発で行き詰まったときは、協力業者にも積極的に意見を聞き、アドバイスをもらっている。大手市場企業の退職者、大学教授(名誉教授)など同社へのアドバイザーは多岐にわたる。内部では解決できない問題や気付かない点も多々あるため、外部の力に頼れる企業風土づくりに努めている。



### 株式会社マーベックス

〒578-0982 大阪府東大阪市吉田本町2-3-30  
TEL: 072-962-3787 FAX: 072-962-3788  
<http://www.mahbex.com>

(代表者名) 本田 善次郎  
(創業年月) 平成13年6月  
(資本金) 15,000千円  
(従業員) 64人  
(業種) 熱交換換気システムの製造販売

### 外部人材活用の成果と今後の展開

#### 労働環境の整備も進める ニッチトップを極め、海外展開も視野に

営業人員の採用を積極的に行った結果、採用したすべての社員が定着したというわけではないが、増収を牽引してくれる社員も出てきている。研究・開発(技術)人員の確保に関しては、新製品の開発を後押ししてくれる人材を採用できた一方で、研究開発の指示を待つばかりで同社とスタンスが合わず退職した社員も過去にはいるようだ。

今後については、引き続き新卒採用と中途採用を継続して行くことに加え、より高いパフォーマンスを発揮してもらうための労働環境の整備にも注力する。具体的には、平成28年(2016年)8月~平成31年(2019年)7月までの3年間、男性社員の育児休業取得の推進、連続5日以上育児休業取得率50%を目指した行動計画を策定。行動計画の実行を促していく。さらに、パート(アルバイト)・派遣社員の正社員登用も進めていくことで待遇の改善も図っていく。周辺に立地する企業と比べて、高水準の待遇を実現していくことで、働き方だけでなく金銭的な待遇面での向上も目指していく。

これまで、協力業者(仕入先・得意先)、顧問、業界内の専門的な知識を有する大学教授などステークホルダーの力を借りながら成長することができた。「決して自社の力だけで成長できたということではない」と代表の本田氏は強調する。自社で足りない部分は、東大阪市のものづくり連携拠点(クリエイション・コア)で企業を紹介してもらうなど、新たな連携先を探し続けている。様々な外部の力を新たな成長の糧としていきたいと考えている。



代表取締役 本田 善次郎 氏

今後の事業展開として、国内換気市場や寒冷地への展開だけでなく、海外市場への進出も計画中である。ものづくりについては、ニッチトップであり続け、たとえ他社に製品が真似されたとしてもそれを超えるオリジナル製品(自社製品)を開発し、業界内で存在感を示し続けていく。



澄家Eco換気システムの施工事例



エコポロンProの施工事例